

## エシカルな鉱物・金属調達に関する公開質問状 2017 及び回答票

質問 1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための管理システムについて伺います。

質問 1-1. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針を策定していますか。また、策定していない場合、今後策定する予定はありますか。

A. 鉱物・金属の調達方針を策定している

(名称・公開場所：

①「富士フイルムグループ調達方針」

<http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/vision/procure.html>

②「調達におけるお取引先へのお願い」

[http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/vision/pack/pdf/index\\_pdf\\_01.pdf](http://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/vision/pack/pdf/index_pdf_01.pdf)

③「富士フイルム グリーン調達基準書」

[http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/pdf/greening/ff\\_greenbasic\\_ver3\\_1j.pdf](http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/pdf/greening/ff_greenbasic_ver3_1j.pdf)

④「紛争鉱物に関する富士フイルムの考え方」

<http://www.fujifilm.co.jp/corporate/environment/procurement/development/index.html>

⑤「米国金融規制改革法に基づく紛争鉱物情報開示要求への社内対応ガイドライン」(非公開)

例；URL

B. 鉱物・金属に特化した調達方針はないが、全般の調達方針でカバーしている

(名称・公開場所： ) 例；URL

C. 現在は全般の調達方針のみだが、鉱物・金属調達に特化した方針の策定を検討している。

(策定予定時期： 年 月頃)

D. 鉱物・金属の調達方針を策定していない。

(その理由： )

質問 1-1-2. 質問 1-1 で A~C と答えた方に伺います(質問 1-1-4 まで)。策定もしくは検討されている方針についてお答えください。鉱物・金属の調達方針において、どのような環境・社会問題への配慮を定めていますか(複数回答可)

A. 土壌や水系・大気の汚染を引き起こしていないか

B. 野生生物や生物多様性への悪影響を及ぼしていないか

C. 先住民・居住者の生活や土地・文化を侵害していないか

D. 児童労働や、劣悪な環境・条件での労働を行っていないか

E. 武装勢力の資金源となる等、紛争に関連していないか

F. その他 ( )

G. 対象とする環境・社会問題は特定していない

質問 1-1-3. 対象鉱物を定めていますか(複数回答可)

A.金  B.スズ  C.タンタル  D.タングステン  E.アルミニウム  F.鉄  G.コバルト

H.ニッケル  I.銅  J.亜鉛  K.銀  L.カドミウム  M.白金属  N.水銀  O.鉛

✓P.その他（上記⑤のガイドラインは対象を金・スズ・タンタル・タングステン(=3TG)と定めており、その他方針については対象を限定していない。）

□Q.特に定めてはいない

質問 1-1-4. 複数の鉱物に対する方針をお持ちの方に伺います。

鉱物ごとに異なる方針を定められていますか

□A.すべての鉱物に共通の方針を定めている

✓B.一部の鉱物にのみ適用される方針がある

具体的に

（質問 1-1-3. 回答参照 ）

質問 1-2. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための内部管理体制を構築していますか。

✓A.社内の管理体制を構築している

□B.常設の管理体制はない

□C.その他（ ）

管理体制がある方

情報集約の仕組み、事務局、検討の場、責任者等についてご説明ください。（図があればそちらを用いて）

- ・ CSR 部門(※)が CSR に関する方針類を定め、周知している。
- ・ CSR 部門が、社内各組織の品質保証部門に対し、化学物質管理に関する法規制の教育を定期的実施している。
- ・ CSR 部門が社内調達部門を通じてサプライヤーに CSR アンケートを実施している。アンケートの結果に基づき、調達部門と改善要請の必要性等を協議し、調達部門を通じてサプライヤーに改善を要請・支援する。
- ・ CSR 部門が顧客からの紛争鉱物調査要請への社内対応ガイドラインを定め、周知している。社内事業部に対し、顧客要請への対応の支援を適宜実施している。

※CSR 部門：富士フイルム(株)CSR 推進部

質問 1-3. 鉱物・金属調達におけるリスクの特定および評価を行っていますか。

✓A.リスクの特定及び評価のプロセスを開発し、サプライチェーン上のリスク特定の取組みを行っている

□B.リスクの特定および評価は特に行っていない

□C.その他（ ）

質問 1-4. 環境・社会問題に配慮した鉱物・金属調達を行うための方針をどのような形でサプライチェーン上で徹底していますか。

✓A.一次取引先への通達事項として依頼

□B.サプライヤーとの取引基本契約書に、調達方針の内容を組み入れている

□C.サプライヤーと合意書を交わしている

□D.特に文書化は行っていない

□E.その他（ ）

質問 1-4-1. 質問 1-4 で D 以外を選択された方に伺います。上記に含まれる内容についてお答えください。(複数選択可)

- A. サプライヤーによる調達方針遵守を求める
- B. サプライヤーが、二次以下のサプライヤーに対して調達方針を遵守するように影響力の程度に応じて適切な措置をとることを求める
- C. サプライヤー自身による自社の調達方針策定や調査の実施を求める
- D. サプライヤーの調達方針遵守状況に関する活動を自社に報告することを求める
- E. その他 ( 「調達におけるお取引先へのお願い」 を依頼している。サプライヤーに対し CSR アンケートへの回答を求める。 )

質問 1-5. 苦情申し立ての仕組み

質問 1-5-1. 鉱物・金属調達における環境・社会配慮について、ステークホルダーからのフィードバックを得る仕組みを構築していますか。

- A. 構築している
- B. 構築していない

質問 1-5-2. 質問 1-5-1 で A と答えた方に伺います (質問 1-5-3 まで)。フィードバックを得る対象の□にチェックを入れ (複数回答可)、具体的仕組みをお書きください。

	対象	仕組み (オンラインフォーム等)	対応言語
A	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤー	社内調達部門がサプライヤー説明会等でサプライヤーからの意見を聞く。公式ウェブサイト上に CSR 問い合わせ窓口を設置し、意見・問い合わせを受け付け事業部と連携して対応している。	日本語・英語
B	<input checked="" type="checkbox"/> 顧客・製品使用者	各事業部門が顧客企業や消費者からの意見・問い合わせに対応し、CSR 部門に報告する。 公式ウェブサイト上に CSR 問い合わせ窓口を設置、CSR 部門が意見・問い合わせを受け付け事業部と連携して対応している。	日本語・英語
C	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員	CSR 部門が各部門からの意見・問い合わせに対応する。 社内ヘルプラインを設置し、コンプライアンス部門が従業員からの苦情や通報に対応する。	日本語・英語
D	<input checked="" type="checkbox"/> NGO・NPO	ステークホルダーダイアログで NGO/NPO と環境・社会配慮について協議している。 公式ウェブサイト上に CSR 問い合わせ窓口を設置し、意見・問い合わせを受け付け事業部と連携して対応している。	日本語・英語
E	<input checked="" type="checkbox"/> 鉱山・工場立地住民	工場地域周辺住民との環境対話集会の開催し、その実施状況をサイトレポートで公表している。 公式ウェブサイト上に CSR 問い合わせフォームを掲載し、意見・問い合わせを受け付け事業部と連携して対応している。	日本語・英語
F	<input type="checkbox"/> その他 ( )		

質問 1-5-3. フィードバックを得た場合の対処の方法をお書きください。

各事業部で対処するが、難しい実情や困った時には CSR 部門に CSR 部門に相談、対処する。

質問 2. リスクの特定および評価の内容について伺います。

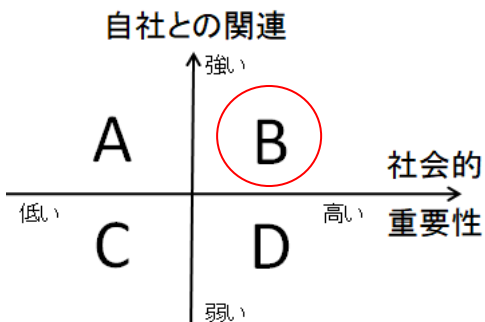
質問 1-3 で A.と答えた方にかがいます。(質問 2 全体)

質問 2-1. リスク特定のための情報収集先として当てはまる項目の□にチェックを入れ(複数回答可)。情報収集方法をお書きください。

	情報収集先	情報収集方法
A	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤー	<input checked="" type="checkbox"/> サプライヤーへのアンケート送付 (頻度: 1~2 年に 1 回) <input type="checkbox"/> サプライヤーへの監査 (頻度: ) <input checked="" type="checkbox"/> その他 (当社顧客企業からの調査要請(都度) )
B	<input checked="" type="checkbox"/> 顧客・製品使用者	営業部門や CSR お問い合わせ窓口への連絡
C	<input checked="" type="checkbox"/> 従業員	社内各部門からの取引先情報収集
D	<input checked="" type="checkbox"/> NGO・NPO	ステークホルダーダイアログ
E	<input checked="" type="checkbox"/> 鉱山・工場立地住民	CSR お問い合わせ窓口による意見受け付け
F	<input checked="" type="checkbox"/> メディア	各種メディアを通じた環境・社会問題や法規制に関する情報収集
G	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (業界団体)	業界団体での情報共有

質問 2-2. 評価の基準

A~D のうち、評価の結果対応すべきリスクと判断されうる象限を丸で囲んでください。また、社会的重要性が高いと判断するポイントをお書きください。



社会的 importance が高いと判断するポイント

(例: テレビ報道、人命の危機 等)

- ・ 人命の危機/健康被害の可能性
- ・ 人権侵害の可能性
- 等

質問 2-3. リスク評価の頻度をご記入ください。(1~2 年に 1 回の定例調査の他、顧客要請により都度)

質問 3. 特定されたリスクへの対応、具体的な対応フェーズについて伺います。

質問 3-1. 質問 1-3 で A.と答えた方にかがいます(質問 3-3 まで)。リスク特定および評価プロセスの結果、対応すべきリスクが特定されましたか。

- A.対応すべきリスクが特定された
- B.対応すべきリスクは特定されなかった

C.その他

**質問 3-2.** 特定されたリスクの内容をお書き下さい。

**質問 3-3.** 特定されたリスクへの対応・是正策をお書き下さい。

- A.対応策・是正策を講じた →内容を下記にお書き下さい
- B.特に対応は行っていない
- C.その他 ( )

対応・是正策の内容

**質問 3-4.** (全ての方に伺います。) 以下のような情報が得られた際の対応をご回答ください

**3-4-1)** 取引開始時に、その取引先のサプライチェーンが下記に関連しているという情報が得られた場合

カナダの鉱山にてテーリング施設決壊事故が発生し、水銀、鉛、ヒ素などの有害物質を含む汚染水が 260 億リットル流出。カナダ国内で活動する環境 NGO から「カナダ史上最悪の環境災害」とのちに呼ばれる事故が発生しました。その原因としては、鉱山法に抵触する過剰操業、欠陥工事、あるいは事前の環境影響評価が不十分であったことが疑われています。いまだ十分に環境回復はされていないという見方が強いものの、現在同鉱山では操業を再開し、銅、金、銀などの鉱物を輸出しています。

(2014年8月ブリティッシュコロンビア州マウントポーリー (Imperial Metals 社所有) での事象を参考)

取引開始手続を一旦停止し、当該鉱山における過剰操業等の問題の状況を取引先に確認する。問題が是正されていない場合は、環境回復のための改善計画を取引先経由で入手し、その妥当性を確認する。不備があれば当該鉱山へ是正を求めるよう取引先に要請する。改善策が実施され、問題がないことが確認できたら取引開始手続を再開する。

**3-4-2)** 現在取引のある相手のサプライチェーンに関連して下記のような情報が得られた場合

エクアドル銅鉱山の操業に反対する現地先住民族と軍による衝突で警察官一名が死亡、両者にけが人が多数出る事件が発生しました。この鉱山をはじめとして当該山脈で開発されている鉱山地帯の土地はほとんどが元来先住民族の生活していた土地と認知されています。しかしながら、エクアドルの国内法では地下資源の採掘にあたって先住民族への事前の十分な情報に基づく合意 (FPIC) は必要とされていなく、当該鉱山においても先住民族のくびとは鉱山開発のために十分な説明なく強制退去させられています。今回の衝突が激化した背景には国際条約で保障されている先住民族の権利やエクアドル憲法でも保障されているべき権利に対する侵害が行われていたことも背景にあると見られています。

(2016年12月14日パナンツァーサンカルロスでの事象を参考)

取引先経由で当該鉱山に先住民族への権利侵害をやめるよう要請し、受け入れられない場合は当該取引先との取引を停止する。

質問 4. 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果等の公開・コミュニケーションについて伺います。

質問 4-1. 鉱物・金属調達における環境・社会問題への対応や結果を公開していますか。

- A. ウェブサイトで公開している
- B. ウェブサイトで公開していない

質問 4-1-2. 質問 4-1 で A. と答えた方に伺います。掲載項目の□にチェックを入れ URL を記載してください。

- A. 問題の背景・自社の問題意識  B. 方針  C. リスク評価手続き・内容 (質問 2 の内容)
- D. 評価結果 (質問 3-1, 3-2 の内容)  E. 評価結果に対する対応・是正策 (質問 3-3 の内容)
- F. その他 ( )

掲載言語：日本語、英語

URL：

【重点課題 3】 CSR 視点でのバリューチェーン・マネジメントの強化： 2016 年度の活動  
「紛争鉱物への対応」

<https://www.fujifilmholdings.com/ja/sustainability/svp2017/process/policy03/valuechain/03.html>

質問 4-2. ウェブサイト公開に加え、追加的に行っているコミュニケーションがあれば選択およびそのコミュニケーション方法を記載してください。

		C. リスク評価 手続き・内容	D. 評価 結果	E. 対応・ 是正策	F. その 他	方法
a	取引先(上流)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	CSR アンケートの結果フィードバック、取引先向け説明会等
b	顧客・製品使用者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サステナビリティレポート発行、顧客企業からの CSR 調査/監査要請への対応、CSR お問い合わせ窓口 等
c	従業員	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	社内向け CSR 調達教育、サプライヤーCSR アンケートの結果フィードバック 等
d	NGO・NPO	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サステナビリティレポート発行、ステークホルダーダイアログ、CSR お問い合わせ窓口 等
e	鉱山・工場立地住民	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	サステナビリティレポート発行、工場周辺住民との環境対話集会、CSR お問い合わせ窓口 等
f	その他( )					

質問 5. 他社・団体との協力について伺います。

質問 5-1. 責任ある鉱物・金属調達を行うために、自社単独の活動（自社のサプライチェーンにおける活動を含む）以外に御社ではどのような活動を行っていますか？（複数選択可）

- A. 国際的な取決めについてロビーイングを行う
- B. 国際的なネットワーク等で協力して取組む（参加しているネットワーク等：\_\_\_\_\_）
- C. 同業他社と問題を共有する場を持ち、業界を上げて取組む  
（参加している取組み：JEITA 責任ある紛争調達検討会 <http://home.jeita.or.jp/mineral/member/index.html>）
- D. NGO・NPO や消費者団体と協力して取組む（協力している団体名：経済人コー円卓会議日本委員会）
- E. 採掘に伴う問題の認知度を上げる（取組内容：\_\_\_\_\_）
- F. 自社単独の活動以外に行っていない
- G. その他（\_\_\_\_\_）

質問 5-2. 鉱物資源・金属調達に関して、NGO との対話に関心はございますか。

- A. 関心がある
- B. 関心はない

（本回答は公開しません）

質問 5-3. 質問 5-2 で A と答えた方にお伺いします。NGO との対話などにどのようなことを期待しますか。

質問 6. 以下の 3 つの法・規則等の対象にあたるかどうかをお伺いします。

当てはまる□にチェックを入れてください。

	対象企業 である	対象企業ではないが、取引先 から調査を受けているもしくは 調査を求められている	対象企業ではなく、関連した調 査や活動を求められたことはな い	把握して いない
米国ドッド・フランク 法紛争鉱物条項	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
EU 紛争鉱物資源に 関する規則案	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
英国 現代奴隷法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

ご回答者について

鉱物・金属に関するサプライチェーン上で貴社がどの部分にあたるかお答えください。（複数選択可）

- A. 鉱山操業
- B. 精錬
- F. 商社・卸売
- C. 一次加工（地金等）
- D. 二次加工（部品等）
- E. 最終製品製造
- G. 最終製品販売
- H. その他（\_\_\_\_\_）